

書くということと私

—— シリーズ 5

ただならぬ思いを書くということ

講師: **雨宮 処凛氏** (作家)

《聞き手》本学・萱野稔人准教授

25歳で物を書き始めた時は、ただ自分が病まないために、吐き出すために書いていた。

いじめやリストカットや心の問題から不安定雇用や貧困の問題にテーマが広がってきたが、自分の中でどうしてもなく一貫しているのは「生きづらい」というその一点だ。そして今、私は小説を書いている。思いを言葉に置き換えていく作業は、私にとって世界の輪郭を掴むということだ。

日時: 2009年 10月7日 [水]
16:20~17:50

事前申込要
参加費無料

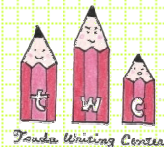
会場: 津田塾大学
小平キャンパス1号館1111教室

雨宮氏プロフィール

1975年、北海道生まれ。作家、プレカリアート活動家。00年自伝『生き地獄天国』でデビュー。著書に『生きさせろ! 難民化する若者たち』『バンギャル ア ゴーゴー』など多数。反貧困ネットワーク副代表。

申込・問い合わせ先

津田塾大学
ライティングセンター(津田梅子記念交流館内)
TEL/FAX: 042-342-5129
URL: <http://twc.tsuda.ac.jp/>
E-Mail: WritingCenter@tsuda.ac.jp
受付時間: 9:00-16:30
(昼休憩 11:15-12:15)



Tsuda Writing Center

TEL&E-MAIL

平成20年度文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム」(教育GP)採択
「社会貢献は書く力とプロジェクト推進力から」

[取組概要]

国内外において円滑にコミュニケーションを図る力量は、仕事の企画・立案・実施・運営に必須の要素であり、その基盤となる日本語力強化のニーズが産官学各界で指摘されている。

本取組では「キャリア教育推進タスクフォース」が、「リーダーシップを発揮する女性人材の育成」を目指し、「ライティングセンター」と「学生主導型プロジェクト」を両輪して実践的総合キャリア教育を推進する。